

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2005年8月16日

2005年8月14日現在の概況：

8月14日に終わる週の気象は、海岸地方を除き5週続きの高温・乾燥気象であった。温度は前週より多少下がったが、NC地区の平均気温は平年を1～9度F上回った。最高気温は88～94度Fであった。Willamette盆地でも高温が続き、平均気温は平年を2～4度F上回り、最高気温は94～96度Fであった。降雨は記録されなかった。1週間の州平均農作業稼働日数は7.0日（前週：7.0日）であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は各地にて前週より悪化した。Willamette盆地の各郡の冬小麦の収穫が最終段階に入った。NC地区Gilliam郡の冬小麦の収穫は完了した。Sherman郡では小麦の収穫は最終段階に入った。7月の高温・乾燥気象が単収を落とす原因となった。WASCO郡の冬小麦の収穫は最終期となった。春小麦の収穫も急速に進んだ。春小麦の単位収量は良好と報告された。春小麦の作柄評価は前週より悪化した。

8月1日付けUSDA発表の冬小麦の生産予想では、単位収量は7月1日付け予想より4.0 bu/acre増え65.0 bushels/acreとなった。春小麦の8月1日予想も7月1日付け予想より3.0 bu/acre増え(昨年：48.0 bu/ac)60.0 bu/acreとなった。詳細は別表の通り。

土壌水分：8月14日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	32	47	21	0
Subsoil (%)	28	47	25	0

小麦生育状況：8月14日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Spring wheat Harvested (%)	77	61	67	66
Winter wheat Harvested (%)	88	71	80	84

次ページへ：

小麦の作柄状況：8月14日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring Wheat This Week (%)	19	26	27	24	4
Spring Wheat Last Week (%)	19	24	21	30	6

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

8月1日付けUSDA発表冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 Acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 Bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
July 1				Aug 1			
OR	780	840	61.0	61.0	65.0	47,580	54,600
USA	34,462	34,271	43.5	44.5	44.4	1,499,434	1,520,848

8月1日付け USDA 春小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
July 1				Aug 1			
OR	175	125	48.0	57.0	60.0	8,400	7,500
USA	13,174	13,637	43.2	43.2	40.6	568,918	553,373

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>